

ふりがな 氏名	こばやし みずほ	都道府県	神奈川県	
	<b>小林 瑞歩</b>			
所属/肩書	早稲田大学文学部教育学コース			
関心・活動のSDGs	  			
私のESD活動	<b>全ての人が成長できる機会を作るため、貧困による不平等やジェンダー、性教育に対する理解を普及させる</b>			
<b>活動の概要</b>				
<p><b>これから取り組みたい内容① 教育に興味がある学生を集め、各々が持っている問題意識を考えるコミュニティを作る</b></p> <p>理由: 貧困による不平等について、教職課程では習わない。社会経済的地位が低い子どもに対して低い期待値を持ってしまふなど、教師や学校が不平等を再生産している事実があるにも関わらずだ。教員は仕事量が多いので、何かを「する」のではなく、この事実を「知る」だけでも生徒への対応が改善されるのではないかと考えた。しかし私がただ教えるのではなく、謙虚に学びあえる場が欲しいと思い、このコミュニティを思いついた。</p> <p>見込まれる成果: 未来の教育者が目の前の人を見るときに偏見を減らす。これは結果的に多くの人が成長する機会を手に入れることに繋がる。</p> <p><b>これから取り組みたい内容② 放課後に SDGs を楽しく考える</b></p> <p>理由:</p> <p>◎上に述べたように、現教員の仕事量を考えるとこれ以上増やすのは難しいから、誰でも無料で行くことができる居場所、放課後の学童保育などを利用したい。</p> <p>◎教師でも親でもない学童の大人と一緒に考えることに意味があると思うから。</p> <p>課題: 学生や退職した方々など、教育法に詳しい人ばかりではない。だからカリキュラムは簡単に取り入れることができるものでなければならない。(コンファレンスでヒントを手に入れる予定)</p> <p>見込まれる成果: 子どもへ考える機会を提供することで創造力を身に付けることが出来る。社会問題を身近に捉えてもらえる。</p>				
<b>私が考える教育の未来像</b>				
<p>個性を活かした教育を行うことで、全員にとって生きやすい社会を創ることが出来ると願っている。</p> <p>私が理想とする教育は「みんな違ってみんないい。」団体の中にいる個人を否定しない教育は、享受した人だけではなく、周りの人にまでも影響を及ぼすことになるでしょう。そうすることで、他人と違ってても良いのだということを当たり前のことにする社会が生まれる。つまり、個性を活かした教育は、良い影響の伝染が生まれることを見越した教育であるべきであり、それが日本や世界を良い方向へリードしていくと考えている。</p>				
<b>私の強み、活かせる経験やスキル</b>				
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Teach For Japan (キャンパスアンバサダー 1期生)</li> <li>2. スウェーデン留学</li> <li>3. 保育園や学童保育での勤務経験</li> <li>4. 早稲田大学</li> </ol> <p>何事も謙虚に学べることが強みです。コンファレンスでは様々なことを吸収して帰りたいと思います。</p>				